

第84回 相模湖地区まちづくり会議 全体会 結果

- 日 時 令和5年4月20日（木）・19時開会
- 場 所 相模湖総合事務所 3階 大会議室
- 出席委員数 20名出席（1名欠席）
- 傍 聴 者 0名

1 開会

2 代表あいさつ（河津代表）

○河津代表からあいさつの後、代表の司会により進行した。

3 報告事項等

（1）協議会の立ち上げについて

○学務課から標記の件について添付資料に沿って説明があった。

（2）小原の郷の有効活用検討事業に係るサウンディング型市場調査の実施について

○事務局から標記の件について添付資料に沿って説明があった。

《主な意見・質問》（◇主な意見・質問等、◆回答等）

◇小原の郷の活用の仕方は地元の団体などの意見はどのようになっているのか。

民間の意見だけではなく地元の意見も聞くべきではないか。

◆サウンディングと地元の意見聴取については並行して行っており、民間の意見と地元の意見を合わせる形で小原の郷の活用方法を決めていく。

（3）令和5年度の日程の確認

事務局から標記の件について添付資料に沿って説明があった。

（4）相模湖地区まちづくり会議 委員の変更について

事務局から標記の件について添付資料に沿って説明があった。

新任の岸野委員より挨拶を頂いた。

（5）与瀬地内での開発について

事務局から標記の件について添付資料に沿って説明があった。

4 協議事項

（1）令和5年度まちづくり会議全体会の課題整理について

○河津代表から説明があり、今年度全体会で中心的に取り上げていく課題を抽出するために別添資料のとおりグループワークを行った。各テーブルの意見については

別紙のとおり。

5 各部会等からの報告

○各専門部会長から各専門部会の取組状況について説明があった。

・産業・観光専門部会の中里部会長からダムカレーマップの頒布とダムカレーの販売が開始されたことについて報告があった。

・子ども・若もの専門部会の河津部会長から前回まちづくり会議から特段動きはなかったと報告があった。

・地域ケア会議の遠藤委員から前回の会議について別添資料のとおり説明があった。

《主な意見・質問》（◇主な意見・質問等、◆回答等）

◇地域ケア会議で吉野・与瀬地区の乗り合いタクシーの話が出ているが、タクシーに乗っても路線上にスーパーなどが無く買い物に不便であると横橋地区の人から聞いたことがあり、今後何かしらの対策を考える必要がある。

6 その他

・相模湖商工会から後援会・パネルディスカッション「大きく変化する津久井地域を考える」について案内があった。

7 閉会

○森久保副代表による閉会

以 上

第84回 相模湖地区まちづくり会議 全体会 次第

日 時 : 令和5年4月20日(木)・19時～
場 所 : 相模湖総合事務所3階 大会議室

1. 開 会
2. 代表あいさつ
3. 報告事項等
 - (1) 協議会の立ち上げについて
(学務課)
 - (2) 小原の郷の有効活用検討事業に係るサウンディング型市場調査の実施について
…資料1
 - (3) 令和5年度の日程の確認…資料2
 - (4) 相模湖地区まちづくり会議 委員の変更について…資料3
 - (5) 与瀬地内での開発について…資料4
4. 協議事項等
 - (1) 令和5年度まちづくり会議全体会の課題整理について…資料5
5. 各部会からの報告について…別紙
6. その他
7. 閉 会

相模湖地区小・中学校の学習環境のあり方に関する検討組織の概要

1 設置目的

「相模原市立小中学校の望ましい学習環境のあり方に関する基本方針」に基づき、相模湖地区小・中学校の現在及び将来の児童・生徒数を考慮し、相模湖地区小・中学校の児童・生徒にとって望ましい学習環境の実現に向けた検討、協議を行う。

「相模湖地区望ましい学習環境のあり方意見交換会」からの報告書に記載された要望を受けての設置

2 構成員（案）

（1）委員

地域関係者：相模湖地区まちづくり会議代表からの推薦者 名

保護者代表：各校PTAより2名ずつ選出（10名）

（対象学校：桂北小、千木良小、内郷小、北相中、内郷中）

検討協議会の会議運営において会長が必要であると認める者

（2）事務局

市教育委員会（学務課）

（3）その他

オブザーバー：相模湖地区小・中学校の学校長に出席依頼予定

行政関係：緑区役所 相模湖まちづくりセンター、学校教育課、学校施設課等

3 検討協議会について

（1）任期

なし

（2）開催頻度等

・2～3か月に1回程度

・平日夜間（19時～）の開催

・1回の会議は1～1.5時間程度

開催時間等は、委員の希望により変更の可能性あり

（3）開催場所

・相模湖総合事務所内

（4）今後の予定

令和5年5月以降 委員選出依頼

以 上

小原地域活性化に向けた小原の郷の有効活用検討事業に係る サウンディング型市場調査の実施について

小原の郷は、地域の優れた自然環境や神奈川県内で唯一現存する小原宿本陣を生かした観光拠点として地域の活性化を図るとともに、市民の交流に寄与するための施設として設置されています。更なる地域活性化に当たり民間事業者等の視点を取り入れた新たな小原の郷の有効活用方策について、現状の使い方にとらわれない新たな実施手法など、民間事業者の皆様等との対話を通じて幅広いご意見・ご提案をいただくため、サウンディング型市場調査を実施しますのでお知らせします。

1 調査の概要

主な対話内容	1 小原の郷及び小原地域全体を活性化させるためのアイデアについて 2 実施手法、事業運営について 3 地域との連携の可能性について 4 行政に期待する支援や配慮を要する事項について
対象者	事業主体となる可能性がある団体又はそれらを構成員とするグループ等

2 実施スケジュール

内容	実施時期
事前説明会の申込期限	令和5年5月8日（月）午後5時まで
事前説明会・現地見学会（任意参加）の開催	令和5年5月10日（水）午後2時から ※事前説明会・現地見学会は要申込
対話参加の申込み	令和5年5月17日（水）から6月16日（金）午後5時まで
資料提出（任意）	対話実施日の5営業日前まで
対話の実施	令和5年6月26日（月）から7月7日（金）までの期間で、1時間程度（対話参加の申込み後、別途調整いたします。）
結果の公表	令和5年8月（予定）

※申込方法等の詳細は、本市ホームページに掲載しています。

（アドレス：<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026766/seido/1026770/1026024/1028303.html>）

お問い合わせ
相模湖まちづくりセンター
電話 042-684-3240（直通）

令和5年度 相模湖地区まちづくり会議の開催日程及びまちづくりを考える懇談会の開催日程について

区分	開催年月	役員会	全体会	まちづくり を考える懇談会	備考
前期	4月	13日	20日		<p>【令和5年度 まちづくりを考える懇談会開催日】 現在市民協働推進課より日程が提示されていない。 例年であれば11月下旬を希望する。</p> <p>原則、役員会は第2木曜日、全体会は第3木曜日</p>
	5月				
後期	6月	15日	22日		
	7月				
	R5 8月	17日	24日		
	9月	14日	21日		
	10月	12日	19日		
	11月			●	
	12月	14日	21日		
	R6 1月				
2月	15日	22日			
3月					
4月	18日	25日			
5月					

第7期 相模湖地区まちづくり会議委員名簿

令和5年4月17日・敬称略

番号	役職	所属団体等		氏名
1	代 表	地域活性化事業 交付金活動団体	サンタクロースプロジェクト	河津 暁
2	副代表	自治会関係	相模湖地区自治会連合会	森久保 高弘
3	副代表	産業・経済 関係団体	一般社団法人 相模湖観光協会	中里 正巳
4	理 事	教育・スポーツ・ 文化関係関係	相模湖地区公民館運営協議会	藤井 行雄
5	理 事	安全・安心 関係団体	緑区安全・安心まちづくり協議会相模湖支部	小川 達雄
6	理 事	地域活性化事業 交付金活動団体	さがみ湖コンシェルジュ	吉良 奈美乃
7	理 事	公募委員	-	鈴木 克枝
8	委 員	自治会関係	相模湖地区自治会連合会	長谷川 兌
9	委 員		相模湖地区自治会連合会	新井 芳男
10	委 員		相模湖地区自治会連合会	佐々木 裕修
11	委 員	保健・福祉 関係団体	相模湖地区民生委員児童委員協議会	清水 孝夫
12	委 員		相模湖地区社会福祉協議会	砂金 富保
13	委 員		相模湖地域包括支援センター（相模湖地区地域ケア会議）	遠藤 亮裕
14	委 員	産業・経済 関係団体	相模湖商工会	小野沢 健二
15	委 員		与瀬商栄会	岸野 和広
16	委 員	教育・スポーツ・ 文化関係関係	相模湖地区小学校PTA「桂北小学校」	倉田 真由美
17	委 員		相模湖地区小学校PTA「千木良小学校」	溝口 香苗
18	委 員		相模湖地区小学校PTA「内郷小学校」	川上 はぎ乃
19	委 員		相模湖地区中学校PTA「北相中学校」	加藤 清子
20	委 員		相模湖地区中学校PTA「内郷中学校」	川村 千穂子
21	委 員	公募委員	-	橋本 久美子

(仮称) ふれあい自然塾相模湖未来型ケアハウス新築工事

資料 4

【設立趣旨】

自然豊かな相模湖畔という住環境においてアクティブシニアが自然や人とのふれあいを通じ入居者の方、一人ひとりが新たな仲間をつくり、生き甲斐や遣り甲斐のある心豊かに送ることが出来る施設を開設し、また本施設を小さな核とし田園都市構想に寄与する。

1 事業概要

項目	内容	
工事の名称	(仮称) ふれあい自然塾相模湖未来型ケアハウス新築工事	
建築場所	相模原市緑区与瀬4 2 9 - 1 外	
構造・規模	鉄筋コンクリート造 (RC造)、地上5階建	
用途	サービス付き高齢者向住宅	
敷地面積	2,658.03㎡	
施工床面積	4,307.96㎡	
駐車場台数	10台	
機能	1階諸室	ラウンジスペース、ユーティリティ広場 (半屋外活動広場)、トレーニングルーム 他
	2階諸室	介護居室①～⑧、理美容室、レクリエーションルーム、管理事務室 他
	3階諸室	居室①～⑮
	4階諸室	居室⑯～⑳、食堂 他
	5階諸室	人工芝、東屋、ウッドデッキ 他
運営主体	○土地・建物所有者：特定非営利活動法人 ふれあい自然塾 ○施設運営：(株)アルプスケアハート (アルプス技研グループ) ※施設併設の訪問介護事業所も運営	

(仮称) ふれあい自然塾相模湖未来型ケアハウス新築工事の概要

2 工程表 (マスター)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
鉄板・養生	仮囲い 鉄板敷	→												撤去 復元
基礎工事	杭工事		基礎鉄筋	基礎型枠	土間コン									
1階工事					鉄筋型枠	コン打設				内装工事		機器設置		
2階工事						鉄筋型枠	コン打設			内装工事		機器設置		
3階工事							鉄筋型枠	コン打設		内装工事		機器設置		
4階工事								鉄筋型枠	コン打設	内装工事		機器設置		
屋上工事										防水工事		庭園工事		
外構工事								外構工事			吹付工事			
電気・設備					養生			配管工事		内部配管	配線工事			

完了検査

【工事関係車両の運行】

- ・基礎工事工程 (4月) 4トン車が1日あたり約4~5台
- ・根伐工事工程 (4月末~5月中) 10トン車が1日あたり約30台
- ・躯体工事工程 (7月末~R6.1月中) 各階の打設工事時に生コン車が1日あたり約50台 (2日間見込)

※進入路周辺の住民に対して、個別説明済 (別紙参照)

令和5年度まちづくり会議全体会の課題整理について

グループワーク編成について

〔ねらい〕

まちづくり会議全体会で、議論すべき課題についてグループワークにより出し合っていたきたいと考えています。

- ・下表のグループに分かれて議論を20分行い、グループごとに発表者を決め、終了後、各グループから出た地域の課題をグループAから順に発表していただきます。
- ・司会者・書記は下記のとおりとさせていただきます。
- ・それぞれ課題と思う内容を付箋に書いて張っていただきます。
- ・発表された課題については、次回全体会にてどの課題について取り上げるべきか議論させていただきます。

〔グループ分け〕

	グループA	グループB	グループC	グループD	グループE
司会者	森久保 高弘	中里 正巳	藤井 行雄	鈴木 克枝	吉良 奈美乃
	倉田 真由美	溝口 香苗	川上 はぎ乃	加藤 清子	川村 千穂子
	清水 孝夫	長谷川 兌	新井 芳男	砂金 富保	佐々木 裕修
	橋本 久美子	小川 達雄	遠藤 亮裕	小野沢 健二	岸野 和広
書記	清水 篤史	廣瀬 史也	奥森 佳則	菊地原 学	河津 暁

まちづくり会議全体会にてとりあげるべき課題について

テーブルA

	現状と課題
地域の諸組織の体制見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会連合会にて役員をやりたくない人が多くいたため負担を減らすために、自治会の組織（体制）の見直しを行うべきという意見が出た。まちづくり会議もメンバーをスリム化すべき。 ・自治連の役員になると付随する役が30以上ある。 ・民生委員も付随する役が3つ4つある。
住居	<ul style="list-style-type: none"> ・内郷地区の民生委員は生活保護を受けている人が多く転入している為、訪問が大変になっている。（かつて帝京大の薬学部の学生向けに貸していたアパートが、NPO法人の借り上げ無低となっている様子） ・内郷地区は用途に制限がかかる青地（農業振興地域内農用地区域内農地）が多く、家を自由に建てられないことが多い。 ・相模湖駅周辺に空き家が増えて寂しいことになっている。状況を詳細に把握して、住みたい人へ情報提供ができればもっと良くなると思う。

テーブルB

	現状と課題
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムを活用 ・ダムカレーをより発展させていきたい。
環境問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムの改修に合わせてゼロカーボンの啓発をしていきたい。 ・底沢の急流を利用して発電ができないか。 ・学校の屋上にソーラーパネルを置けないか。
住居	<ul style="list-style-type: none"> ・用途に制限がかかる青地（農業振興地域内農用地区域内農地）が多く、家を自由に建てられないことが多い。千木良は家が増えていることもあり、機会損失をしているとも考えられる。
移住定住	<ul style="list-style-type: none"> ・転入してくる家族に補助金を増やしてほしい

テーブルC

	現状と課題
防犯・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害弱者の把握 ・駅前の防犯カメラの撤去について ・独居老人のケア、買い物支援 ・通院先が少ない（特に専門科）
買い物	<ul style="list-style-type: none"> ・商店が活性化してほしい。
定住	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が成長すると進学で外に出てそのまま外に就職して戻ってこなくなってしまう。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・検討協議会に入る内容とそれ以外の内容の線引きを明確にしてほしい。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・若者や女性の方を巻き込む相模湖を活用する行事を行ってほしい。 ・外から来た人が滞留する道の駅がない ・駅前の利用者を増やす。 ・湖畔の活性化の為に相模湖ブランドを立ち上げたい。 ・相模湖の事をもっと知ってもらうために情報発信を効果的に行う。 ・相模湖駅伝を復活してほしい ・自治会の存在を際立たせるために各地域の盆踊りを復活してほしい。 ・相模湖に遊びに来てじっくり楽しまず帰ってしまう。

テーブルD

	現状と課題
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を生かし、ダムカレーを促進するために子育て世帯、若い世帯の意見を聞きたい。 ・何かやるには、県企業庁ダム事務所、大規模ダム改修があり、良いタイミングである。 ・自分達が楽しくないと市外の人も楽しめない。
まちづくり会議	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会は、各部会の報告の場だけにならないように共通の認識を持つ。 ・小さいグループにならないとなかなか会話をする機会がない。

テーブルE

	現状と課題
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・出入りのある学生に相模湖のイベント運営に参加してもらって、アイデアを挙げてもらってはどうか。 ・アトリエヨシノをうまく活用していきたい。 ・高齢者をうまく活用していきたい、高齢者の町として進んでいくことも考えるべきだ。 ・イベント等で湖畔をもっと活用していきたい。
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間使えるAEDが近隣に無い。
移住定住	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯や若者を支援する補助金等が欲しい



さがみ湖 相模ダムカレー

相模湖周辺の絶品「相模ダムカレー」が
食べられるお店をご紹介します!



誕生秘話

相模ダムカレーとは?

日本でも珍しいダムの改修工事が始まるのでこれを機に
相模湖といえば相模ダムをPRをしたい。

じゃあどうしようと考えた時に相模湖地区ではカレーを出す店が多い。
ならダムカレーを一斉に始めて、これを機会に相模湖の魅力をPRだ!
ということで「さがみ湖 相模ダムカレー」が誕生しました。

その他にもカヌー・ボート競技、ワカサギ釣り、
登山など様々なレジャーを相模湖では楽しむことが
できます。ぜひ相模湖へお越しください!

昭和22年(1947年)に完成した
日本初の多目的ダム

相模ダムの歴史

1938年(昭和13年)の県議会の議決を経て、相模川総合開発事業がスタートしました。
根幹施設として、相模ダム建設は、1941年(昭和16年)より着手、戦争や水害による設備の流出を経て、1947年
(昭和22年)に完成した、日本で初めての多目的ダムです。
上水道・工業用水や水力発電等が行われ、神奈川県の水供給に大きく寄与しています。



相模ダム 大規模改修 (概算事業費 252億円)

相模ダムは、施設の老朽化及び長年の放流の影響で川底や兩岸の浸食が進んでいること
などから、神奈川県企業庁による大規模な改修工事が進んでいます。

H30 計画策定 H31~R2 概略設定 R3~R5 詳細設計・準備工事
R6~R10 下流の河道保護工事実施 R9~R20 放流設備工事実施



さがみ湖 相模ダムカレー



1

2

3

4

5

6

7

8

①見晴らしドライブイン

☎ 042-684-4234

定休日：火・水

相模原市緑区与瀬1562



②かどや食堂

☎ 042-684-2002

定休日：火

相模原市緑区与瀬本町12



④レストラン まつき

☎ 042-684-3335

定休日：不定休

相模原市緑区与瀬337-1



③いかりやレストラン デミタス

☎ 042-684-2536

定休日：木

相模原市緑区与瀬本町13-13



⑤青林檎

☎ 090-4673-1051

定休日：月

相模原市緑区与瀬259-1



⑥グリーンスポット

☎ 042-684-2571

定休日：不定休

相模原市緑区与瀬202



⑦寿麴庵 BISTRO 蔵

☎ 090-3358-0608

定休日：火曜日

相模原市緑区千木良533



⑧カレー&コーヒー

KARIN

☎ 042-685-0722

定休日：火曜日

相模原市緑区寸沢嵐3454



相模湖

相模湖駅

風山

さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト

相模湖林間公園

石老山

お問い合わせ先

一般社団法人 相模湖観光協会（観光案内所）

電話：042-684-2633 受付時間 9:00～17:00

※このマップは、相模原市地域活性化事業交付金にて作成いたしました。

4 地域ケア会議実施報告書

相模湖 地域包括支援センター <1>

開催日時	令和5年2月21日 (火) 13時 30分～ 15時 30分						
会場	相模湖総合事務所3階A会議室						
参加者 14名	①民生委員	1名	⑨消防	名	⑪⑫内訳 人数	⑮⑯内訳 人数	
	合計						名
	②自治会	1名	⑩介護保険事業所	名	名	商工会	1名
	③老人クラブ	名	⑪医療関係	名	名	包括	2名
	④サロン	名	⑫リハビリ職	名	名	市社協	1名
	⑤ボラ団体	名	⑬地ケ課	1名	名	地域活動者	2名
	⑥市社協	1名	⑭相談課(高齢班)	1名	名	相模湖福祉センター	1名
	⑦地区社協	1名	⑮市関係課	1名	名		
	⑧警察	名	⑯その他(事務局含)	7名	名		
分類	②地域づくり部会		→①個別なら (複数選択可)		→②地域なら (複数選択可)		アイウエ
テーマ	買い物支援・地域づくり部会だより・ちょこっとボランティア相模湖・第8期高齢者保健福祉計画の振り返りと令和5年度の部会テーマ・令和5年度地域情報誌の作成						
意見交換の概要	<p>【地域で取り組む買い物支援について】 ・地ケ課、相模湖福祉相談センターからの移動支援の説明の件も含め、交通などについては選択するほどサービスがなく、制限なく誰もが使える移動サービスがほしい。おしどり号を活用しての買い物ツアーは次年度からの企画とする。おしどり号の状況については次回相模湖まちセンに出席してもらい状況の説明を依頼する。運行している地域である内郷連合自治会に話をして協力をあおいではどうか、スーパーの特売日に合わせて実施したらどうか、まずは地域づくり部会委員でおしどり号を利用してみてはどうか等の意見が出た。 また、横橋地区のアセスメントの実施については了承された。</p> <p>【地域づくり部会だよりについて】 たよりの内容については資料通り了承。全戸配布については手段がないため、自治会加入世帯への全戸配布と民生委員による自治会に入っていない世帯への配布を依頼することとなった。配架については資料通りで承認された。印刷部数は3600部とする。</p> <p>【ちょこっとボランティア相模湖】 ちょこボラが知られていない。どうしたら浸透するかを考えたい、地域情報誌を活用したり、自治会掲示板やスーパーなどにポスターを貼る等、いろいろな方法を試してみてもどうかとの意見が出た。</p> <p>【第8期高齢者保健福祉計画の振り返りと令和5年度の部会テーマについて】 第8期の取組と今後の方向性については、当初計画には記載がないが、部会で取り組んだ買い物支援についてを加筆する。</p> <p>買い物等支援について・・・継続審議 ちょこっとボランティア相模湖・・・議題にはせず、活動報告のみとする。活動の周知等は協力を得る。顔の見える関係づくり・・・認知症普及啓発パンフレット(仮称)を活用した認知症の理解について検討する。</p> <p>【令和5年度地域情報誌の作成について】 大幅にリニューアルすることは了解。目次をつけるとよい。あまりページ数は多くない方がよい。地区内情報を中心に掲載があるとよい。新たなものを作ってみることは良い。</p> <p>【個別事例部会報告】 独居の高齢女性。普通に一人暮らしをしていた人が、急激に認知症が進行し、生活が継続できなくなった。支える人達の介護保険の知識がたくさんあるとささえやすい。今後も地域に出向き理解を進めていきたい。</p>						
今後の具体的な取り組み方針	<p>買い物等支援(乗り合いタクシーの活用、買い物不便地域のアセスメント) 認知症の理解について(認知症普及啓発パンフレットを活用)</p>						
関係者の役割分担	特になし						
残された課題・広域的な課題	移動支援について						
参加者・まちづくり会議への報告	資料、報告書を共有する						
(地域づくり部会なら)	次回 令和5年度に決定する時期		次回 テーマ 買い物支援・認知症の理解について				